

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 922

2026年 1月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

希望ある前進を実現する年に

一昨年の総選挙に続き、昨年の参院選でも過半数割れた自公政権。その根底には「失われた30年」――経済成長が止まり、賃金が上がらず、人口減少に歯止めがかからず、物価高にも対策が打てない自民党政治の行き詰まりへの国民の深い失望があります。

石破前首相の退陣を受けた高市早苗新総裁の選出のもと、26年間連立を組んできた公明党が離脱するとい

う激動が起き、自民党は衆議院での過半数を維持するために日本維新の会と連立を組み高市政権が発足。自民党の最も右翼的な部分と、補完勢力として最も急進的な右翼・新自由主義の連合政権です。衆議院での過半数をかううじて確保した不安定な政権ですが、日本初の女性首相となつたこともあり高い内閣支持率が続いています。

「政治の表層」では右翼的な潮流

新年おめでとうございます。
昨年の参議院選では自公政権を少数与党に追い込むことは出来ましたが、肝心な共産党の議席は後退させてしまいました。

高市政権は物価対策や社会保障拡充などの国民要求より、アメリカの要求に応え軍事費拡大を優先させており、国民との矛盾が深まることは必至です。来るべき総選挙できつちりと審判を下そうではありませんか。今年もご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

2026年 1月

日本共産党相模湖支部

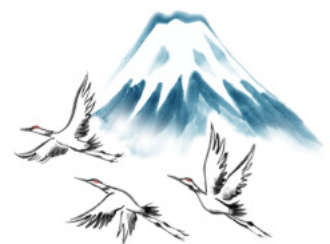


が勢いを増しているように見えますが、その

「表層」の流れと、国民が衆参の選挙で下した審判にこめられ

た「失われた30年」の打開や、平和と暮らし、民主主義、人権を求めるという「社会深部の流れ」との間には大きなギャップがあります。かつてない激動の可能性をはらむ年の始まりです。

高市政権は米国の要求に依って25年度補正予算に過去最大の軍事費を計上し、26年度予算案の軍事費も過去最大の9兆353億円を計上。米国言いなりで大軍拡を進めれば、平和を脅かし、国民の暮らしも押しつぶされることになります。こうした危険な政治の流れをくい止め、希望ある前進を実現する年にしようではありませんか。





自然観察シリーズ
NO. 590
植 物

ヒヨドリジョウゴ（鶉上戸）

ナス科ナス属

12月のある日、いつものように散歩に出かけた。私の散歩は、ただ黙々と歩いて歩数を稼ぐウォーキングとは違い、植物や昆虫や鳥などを探したり観察したりする自然観察散歩です。

この日も近くの墓地の日当たりの良い展望台まで行くと、山の斜面に赤い透き通るようにきれいな実が、垂れ下がるようにいっぱいなっていました。里山では割と良く見られるヒヨドリジョウゴという植物でした。

ヒヨドリジョウゴはナス科の蔓草で、

赤い実に鳥のヒヨドリが集まって、賑やかにしている様子から付けられた名前です。しかし、この実にはソラニンというジャガイモの芽やホオズキなどに含まれる同じ毒があるので、人が食べると中毒します。



新年おめでとうございます。

ことしの干支は牛ですが、馬はとても社会性が強いといわれています。新しい年を、自民党政治に変わる新しい政治をめざす社会的連帯をおおいにひろげる年にしたいと決意をあらたにしています。

高市政権と極右排外主義による平和・民主主義・暮らしの破壊を許さず、消費税減税など暮らし最優先で日本経済を立て直すとともに、米国言いなりの大軍拡を止め、医療・介護・社会保障に手厚い政治に切り替えるために、力をあわせてがんばります。

衆議院議員 志位 和夫



2026年、新しい年を迎えました。昨年は、参院選、地方選挙をはじめ、ご支援ありがとうございました。

自民党と維新の会連立の高市政権による、国民に冷たく危険な政治と正面からたたかう日本共産党の役割はますます大きくなっています。国会要請で地元の国会議員として、志位和夫議長、小池晃書記局長が駆けつけての最新の国会報告は、政治を変える大きな力になっています。

来年の統一地方選挙、年内にも可能性のある総選挙で、日本共産党の勝利・躍進のために、みなさんのご支援をよろしく願っています。

元衆議院議員 はたの君枝